

# 令和7年度

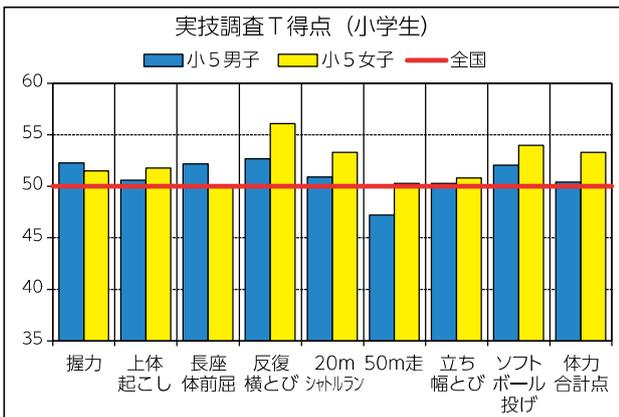
# 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」調査結果

スポーツ庁では、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することを目的とし、小学校5年生及び中学校2年生を対象とした『全国体力・運動能力、運動習慣等調査』を実施しています。本年度の調査期間は4月～7月で、8種目の実技調査及び質問紙調査が行われました。

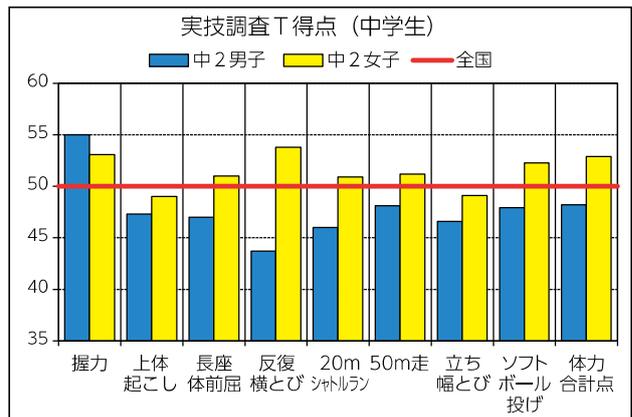
本調査により測定できるのは体力などの特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、令和7年度の標茶町小学校5年生54名、中学校2年生51名の調査結果の概要をお知らせします。

## 1 結果の概要 ～ 種目別の結果

### ◇【小学生】



### ◇【中学生】

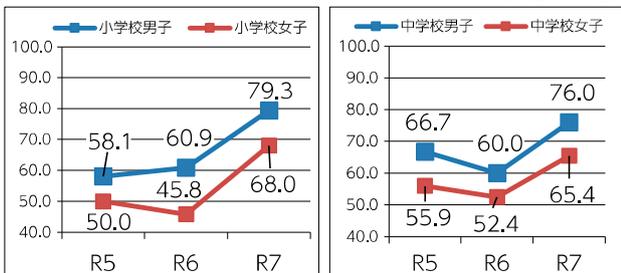


上のグラフは、全国平均を50としたときの本町の児童生徒の結果です。本年度の体力合計点は小5男女、中2女子が上回り、中2男子が若干下回る結果となりました。種目別では、小5男子は7種目、小5女子は全ての種目において全国平均を上回りました。中2男子は1種目上回り、中2女子は6種目において全国平均を上回りました。

## 2 児童生徒質問紙調査から

### ◇「体育（保健体育）の授業は楽しい」

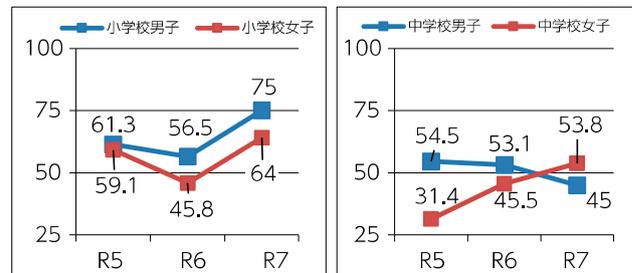
(単位は「%」)



本年度は小学校、中学校ともに「体育（保健体育）の授業が楽しい」と回答する割合が向上しました。生涯にわたって心身の健康を保持増進するため、運動やスポーツを「楽しい」「大切だ」と感じる事が重要です。さらに学校と家庭、地域が連携し、子どもたちが日常的に体を動かす機会につながってほしいです。

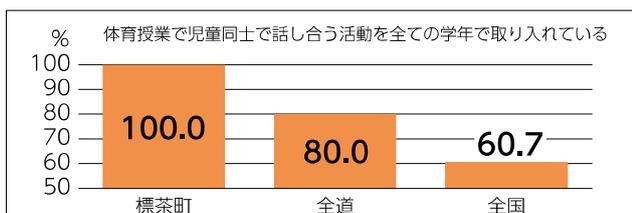
### ◇「小学校(中学校)を卒業しても自主的に運動したいか」

(単位は「%」)

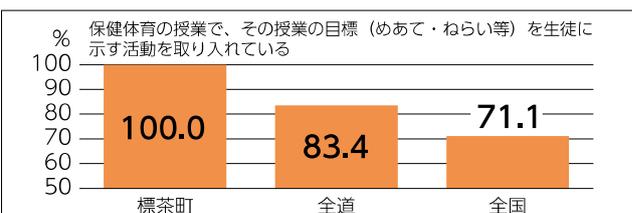


昨年度に比べ、小学校男女および中学校女子において、「自主的に運動したい」と回答する割合が向上しました。一方、中学校男子の割合が減少傾向です。今後も、運動の楽しさを味わう機会を増やすとともに、体育の授業だけではなく、自宅での手軽な運動、家族や仲間と楽しみながら体を動かす運動習慣を身に付け、進んで運動に親しむ態度を育てていきたいと考えます。

## 3 学校質問紙調査から



標茶町の全ての小学校で、体育の授業中に児童同士の話し合い活動を積極的に取り入れています。お互いの考えを尊重し合ったり、よりよい動きを考えたりすることにつながっています。



標茶町の全ての中学校で、授業目標を示し、目標達成のために効果的な運動の場を提供するとともに体力・運動能力の向上に努めています。このような取組を継続してまいります。